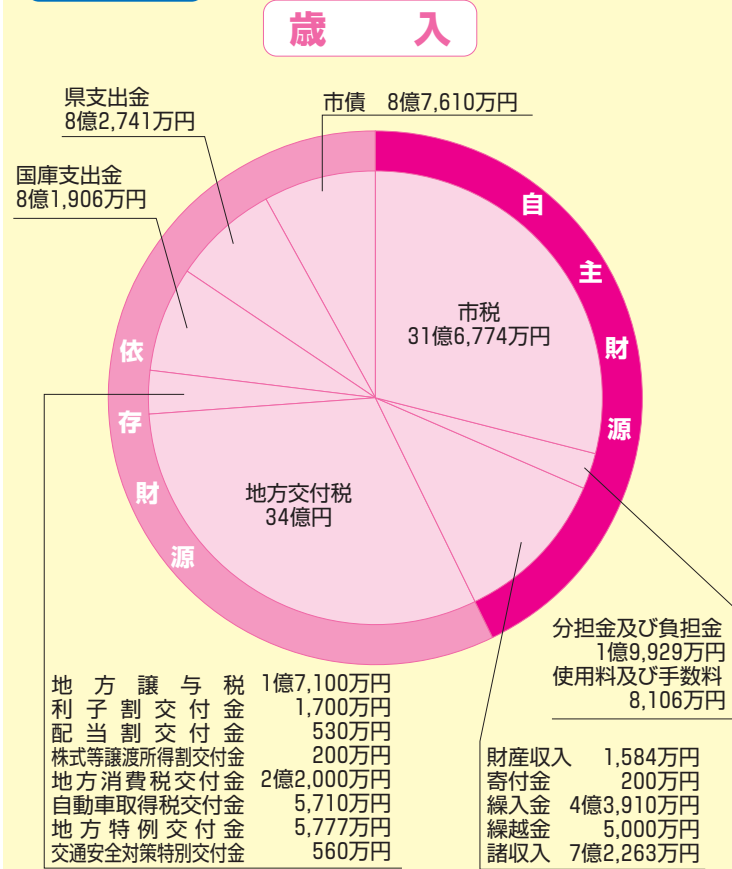


一般会計



平成21年度
当初予算概要

歳入では、景気低迷と納税者の減少などにより、市税は前年度比5%減、1億6749万円減額の31億6774万円を見込んでいます。介護保険では、制度改正を受けて保険料を400円引き上げ、月4500円とします。歳出では、義務的経費全体で0.5%減となっているものの、広域ご

み処理施設の組合債償還が本格化することから、市の負担額が9596万円増えて1億7433万円となり、実質的な義務的経費は増大しています。投資的経費では、普通建設事業費が9.5%減の12億8837万円となっていますが、市民要望の強い道路改修など前倒し予算に計上した分を加えると、1.8%の増となります。

誇りと活力に満ちた
ふるさと勝山を実現



平成21年度
予算特集

景気低迷による市税、地方交付税などの一般財源の減少が見込まれる中、費用対効果を重視した効率的な予算編成に努め、国の経済対策（平成20年度補正予算）に伴う前倒し予算を含めた総額は112億9700万円となり、前年度を1.1%上回る積極型予算となりました。前倒し予算を除いた一般会計当初予算は111億3600万円、前年度比0.3%の減、各特別会計と上水道の企業会計を含めた全体の予算規模では、前年度比0.3%増の190億5818万円となりました。市税などの一般財源不足は、財政調整基金を取り崩して対応しましたが、平成21年度末の基金残高は、10億379万円を確保できる見込みです。また、市の長期借入金である一般会計市債平成21年度末残高は、前年度末と比較して、1億6738万円減額の、93億3790万円が見込まれます。

平成21年度予算総額
190億5,818万円 (0.3%)

一般会計 111億3,600万円 (-0.3%)

特別会計 72億9,515万円 (1.2%)

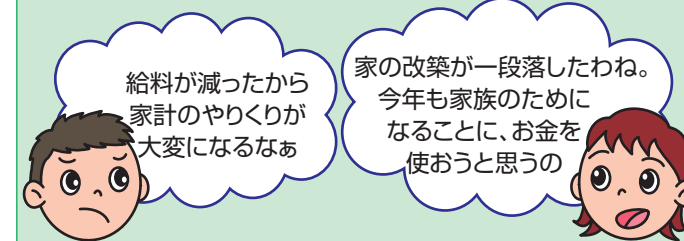
区分	予算額	前年度比増減(%)
育英資金会計	3,546万円	-15.0
下水道事業会計	12億3,243万円	-5.7
農業集落排水事業会計	3億2,369万円	-0.6
簡易水道事業会計	1億6,958万円	91.4
国民健康保険会計	25億8,368万円	12.7
老人保健会計	1,657万円	-94.9
後期高齢者医療会計	3億1,933万円	-7.7
介護保険会計保険事業勘定	25億1,767万円	3.2
介護保険会計介護サービス事業勘定	1,118万円	1.4
市有林造成事業会計	8,556万円	165.2

企業会計 6億2,703万円 (0.6%)

水道事業会計 6億2,703万円 0.6

勝山さんちの家計簿 例えば年収を300万円（月収25万円）とすると……

収入		支出	
平成21年度予算 (一般会計性質別内訳)	1か月の家計に例えると	平成21年度予算 (一般会計性質別内訳)	1か月の家計に例えると
市税などの自主財源 46億7,766万円	給料・パート収入 25万円	繰入金・補助費・出資金・貸付金等 32億3,645万円	子どもへの仕送り・各種会費など 17万3,000円
地方交付税、国・県支出金等 55億8,224万円	両親からの仕送りなど 29万8,300円	人件費 23億3,115万円	食費 12万4,600円
市債発行 8億7,610万円	各種ローンの借入 4万6,800円	扶助費 16億8,770万円	医療費 9万円
収入計 111億3,600万円	収入計 59万5,100円	普通建設事業費・維持補修費 14億6,344万円	車の購入・自宅の増改築・修繕費 7万8,200円
		公債費 12億0,845万円	ローン返済 6万4,600円
		物件費 11億7,249万円	光熱水費・被服費等 6万2,700円
		積立金 3,632万円	新たに預ける貯金 2,000円
		支出計 111億3,600万円	支出計 59万5,100円



※勝山さんちでは、平成21年度末での借金残高が49万9,000円で、貯金残高が5万4,000円を見込んでいます